

手芸倶楽部新聞

特別養護老人ホーム東かなまち桜園

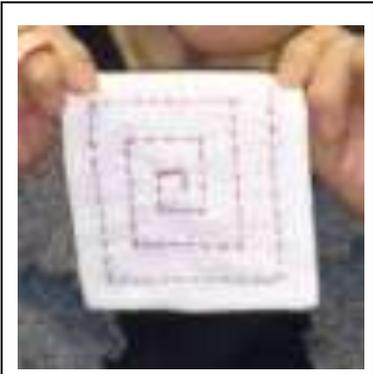
平成二十五年十二月九日。

二階青ユニットフロアにて、第一

回手芸倶楽部を開催いたしました。

初回は、縫い物がお好きな方をお誘いして、刺し子でコースターを作りました。久しぶりの針仕事に、少々戸惑いながらも、徐々にコツを思い出して、楽しそうに針を動かされる皆さんに、職員も感動！

違うフロア、違うユニットの利用者様が集まったため、初対面の方も多かったと思うのですが、さすがは同じ趣味の仲間同士、すぐ意気投合され、自己紹介されていました。



2013年
12月9日号
創刊号

発起人：伊藤機能訓練士より

自分の好きな活動、興味のある活動に取り組み、手先や頭を動かすことは、一番のリハビリになります。

参加者の皆さんが、針仕事に取り組む姿は、とてもイキイキしていました。自分の為や誰かの為に作品をつくる事で、生活にもハリが生まれてきます。

これからも入居者の皆さんが、自分の好きな作業に取り組める機会を作っていきたいと思えます。(伊藤)

今回は十二月二十日、地域交流室にて十五時より開催予定です。ご家族やボランティアの方の参加も大歓迎です。刺し子に関わらず手芸に興味のある方はぜひ伊藤まで一報ください。



編集後記：「刺し子をやっていたらこうよ！」と伊藤 OT に誘われて、生まれて初めて刺し子をした筆者ですが、できあがった刺し子を利用者様に見ていただくと「縫い目がガタガタよ」等ダメ出しの連続！よくよくお話を伺うと、皆様、若い時には縫い物で生計を賄っていた方、その道のプロの方々だったのでした。とっても楽しかったので、皆様に教わりながら、またぜひお手伝いしたいと思います。(平戸)